

2024年6月28日

報道関係者 各位

～群馬大学が誇る卒業生・詩画家～
「追悼・星野富弘詩画展」を開催

群馬大学（群馬県前橋市）では、2024年4月28日に逝去された、本学教育学部卒業生で詩画家の星野富弘（ほしの・とみひろ）氏を偲び、中央図書館ギャラリーにて詩画展を開催します。



1. 本件のポイント

- 2012年に群馬大学医学部附属病院に寄贈された詩画作品45点のうち11点を展示します。
- 併せて、図書館が所蔵する富弘氏の著書・関連書（12冊）、本学共同教育学部・田中麻里研究室が富弘氏故郷の群馬県勢多郡東村（現みどり市東町）の子どもたちと制作した「東村・とみひろトランプ」、在籍時に所属した体操部や登山時の写真（11点）を展示します。

2. 本件の概要

- 星野富弘氏は、群馬大学教育学部を1970年3月に卒業後、体育教師として赴任した中学校でのクラブ活動指導中に、不慮の事故により頸髄を損傷し、手足の自由を失いました。群馬大学医学部附属病院で9年3か月の入院生活を送る中で、口で筆をくわえて文や絵を

描き始め、その作品は国内をはじめ海外でも「花の詩画展」が開催されるなど大きな感動を呼びました。

- 本学では、学術や文化、社会貢献活動などで著しい功績のあった卒業生や教職員を顕彰する「群馬大学特別栄誉賞」を2011年に創設し、富弘氏は、その受賞者第1号となりました。その後、病院への恩返しにと詩画作品45点が寄贈されたことを受け、2012年に、医学部附属病院外来棟1階に作品展示コーナー（星野富弘「花の詩画コーナー～ありがとう私のいのち～」）がオープンし、病院を訪れる多くの方に心の慰めや励ましを与え続けています。本展示では、この寄贈作品から11点を展示します。
- その他、在学時の写真（11点）や、本学共同教育学部の田中麻里教授が、富弘氏の故郷である東村（現みどり市）の子どもたちと2004年に制作した「東村・とみひろトランプ」、富弘氏の作品をモチーフにした群馬大学オリジナルグッズも展示します。

3. 開催概要

日 時：2024年7月2日（火）～8月30日（金）

※休館日 祝日、8月10日～18日、8月24日、8月25日

※開館時間 8月7日まで：平日9時～21時、土日9時～17時

8月8日から：平日9時～17時、土日休館

場 所：群馬大学総合情報メディアセンター中央図書館

（荒牧キャンパス内；前橋市荒牧町4-2）

お問合せ：Tel. 027-220-7185（一般問合せ用）

※入場無料

※詳細はこちら（群馬大学総合情報メディアセンターお知らせ）

<https://www.media.gunma-u.ac.jp/announce/2024/clib/2024062700.html>

【本件に関するお問合せ先】

群馬大学 研究推進部総合情報メディアセンター課（中央図書館）

学術企画係 山内可菜（やまうち・かな）

TEL: 027-220-7180

E-MAIL: k-yamauc@gunma-u.ac.jp

追悼

星野富弘詩画展

今年4月28日に逝去された、本学教育学部卒業生で詩画家の星野富弘氏を偲び、2012年に群馬大学医学部附属病院に寄贈された詩画作品の中から11点を展示します。また、在学当時の貴重な写真や、図書館所蔵の著作も併せて展示します。見る者の心を打つ詩画や優しい文章に、ぜひ触れてみてください。



「美しい今」 富弘美術館提供

《展示作品》

沈丁花	小さな実（ぐみ）
美しい今	れんげつつじ
てっせん	春（さくら）
桐の花	野ばら
たんぽぽ	チューリップ
くちなし	

星野富弘氏 プロフィール



1946年、群馬県勢多郡東村（現みどり市東町）に生まれる。群馬大学教育学部卒業後、中学校の教諭になるが、クラブ活動の指導中に頸髄を損傷、手足の自由を失う。入院中、口に筆をくわえて文や絵を書き始める。1982年高崎で「花の詩画展」を開催以降、全国各地、また海外でも開催される。1991年、群馬県東村に富弘美術館開館。2006年、群馬県名誉県民。2011年、群馬大学特別栄誉賞。2024年4月28日逝去。詩画やエッセイの著書多数。

入場無料

期間

2024. 7/2[火]～8/30[金]

中央図書館の開館時間はホームページをご確認ください。

※休館日：8/10～8/18、8/24、8/25

会場

群馬大学中央図書館1Fギャラリー

前橋市荒牧町4-2（群馬大学荒牧キャンパス内）

※お車でご来場の方は、当日に本学正門前守衛所にて入構許可証を申請してください。

お問い合わせ 群馬大学中央図書館 TEL.027-220-7185

